

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ 18

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「史跡名勝天然記念物(名勝2)」

市指定名勝10件のうちには、それぞれの地域の特色を表すものが数多く指定されています。今回は、その中で代表的なもの4件を紹介します。

段の白滝と河床

竹野町段

あかがねやま
銅山から段に向かう市道の途中の小さな谷にあります。四段の滝と、50m以上続く一枚岩からなる河床を流れる水は、よく澄み、年中枯れたことがないといわれています。特に滝つぼから河床に流れ込む景観は、周囲の緑との対比が美しく、また、一枚岩の河床を流れる水は、透明な布を流したようにも見えます。



白糸の滝

出石町袴狭

袴狭集落の東側、谷の奥にあります。岩場に生える松の間を流れる優雅な姿が白糸のようだと、この名が付いたといわれています。また、江戸時代に来遊する人々が、出石城に近いこの滝を訪れ、その風情を詩歌に読み込んでいます。流れの途中に展望台が造られており、間近で滝を楽しむことができます。



隆国寺石垣

日高町荒川

但馬ぼたん寺としてよく知られる隆国寺の総門をくぐり、三門に至るまでの庭の両側と正面に石垣が積み上げられています。この石垣は、神鍋山溶岩を積み上げたもので、寛政4年(1792年)の本堂の再建とともに、改修されました。



中央に構えられた三門とその奥にある本堂と、石垣との対比が、見事な構成に仕上がっています。

願成寺本堂庭園

出石町東條

天保年間に書かれた『東門日乗』に、天保6年(1800年)ごろに造られた庭園であることが記されていました。庭園は庫裏書院と本堂から鑑賞する池泉鑑賞式庭園で、入佐山の斜面を利用して造られています。宗鏡寺の庭を「無の庭」、本庭を「心の庭」として、合わせて「無心の庭」として沢庵禅師が造ったという伝承も残っています。



語句の解説

- ・総門…禅寺の表門のこと。三門は、仏殿前にある門をいう。
- ・東門日乗…出石藩の漢学者桜井東門が著した日記。日乗とは日記のこと。

- ・池泉鑑賞式庭園…大きな池を中心にし、その周囲に園路を巡らせて中島や橋、岩などを鑑賞する庭園様式

【お知らせ】

前回の歴史探訪～文化財を巡る～17の指定の区分をお知らせします。旧大岡寺庭園は国指定、切浜の「はさかり岩」と宗鏡寺本堂庭園は県指定、観正寺の庭園は市指定です。

●発行／豊岡市
●編集／政策調整部秘書広報課
〒666-1111
079-6611
004
FAX 24-11004

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎47-1111
・出石 ☎52-3111
・日高 ☎4232-1100
・但東 ☎54-1100
・城崎 ☎10001